

## 【 養 鶏 】

1 開催期日 令和8年6月8日(月)～6月11日(木) 4日間

2 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
6月8日 (月)	13:10 ～13:30	開講式
	13:30 ～14:30	鶏卵・鶏肉の生産・流通の現状と対策 畜産局 食肉鶏卵課 鶏卵食鳥班 畜産専門官 佐藤 満美子
	14:45 ～16:15	鶏卵の消費者ニーズと商品政策 京都生活協同組合 常務理事 金山 修
	16:30 ～17:30	アニマルウェルフェアの現状について 畜産局 畜産振興課 アニマルウェルフェア推進班 監視官 遠藤 聡子
6月9日 (火)	8:45 ～11:45	鶏の疾病とその予防対策 株式会社ピーピーキューシー 代表取締役社長 白田 一敏
	12:45 ～13:45	鶏の栄養・飼料 農研機構 畜産研究部門 肉用家畜研究領域 鶏生産グループ 主任研究員 原文香
	14:00 ～15:30	日本のブロイラー産業と鶏肉生産における重要ポイント 株式会社日本チャンキー 営業部門 営業部 部長 田中 康之
	15:45 ～17:15	素ヒナ生産と鶏卵の実際 株式会社ゲン・コーポレーション 生産部門 部門長 橘 亮介
6月10日 (水)	8:45 ～10:15	鶏卵・鶏肉の生産に係る施設と整備 株式会社ハイテム 専務取締役 安田幸太郎
	10:30 ～11:30	家禽防疫・予防の推進について 消費・安全局 動物衛生課 防疫業務班 課長補佐 植田 資也
	12:30 ～14:00	民間の国産鶏の改良普及と国産鶏育種への期待 株式会社後藤孵卵場 代表取締役社長 日比野 義人
	14:15 ～15:45	卵の加工と機能成分の利用 キューピー株式会社 研究開発本部 未来創造研究所 機能素材研究部 サステナブル技術研究チーム チームリーダー 笹原 亮
	16:00 ～17:30	鶏肉の消費者ニーズと商品政策 全農チキンフーズ株式会社 東日本営業本部長 横山 勉
	6月11日 (木)	8:45 ～10:15
10:30 ～11:30		家畜改良センター岡崎牧場のGAP認証取得について 独立行政法人家畜改良センター岡崎牧場 業務課 課長補佐 山西 真樹
11:45 ～12:45		国産鶏の育種改良と遺伝資源保存 独立行政法人 家畜改良センター岡崎牧場 場長 河内野慎也
12:45 ～13:00		閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

※講師所属について「農研機構」と記載あるものは「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構」の通称です

3 開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

T E L 0248-25-7060

F A X 0248-25-6755

4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体及び畜産関係団体の職員で当該分野に配属されて原則 5 年以内の者、農業に従事する者

5 受講者数 40 名程度

6 受講者の留意事項

(1) 受講者は、宿泊等については研修開始 10 日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

(2) 研修施設への入所は、研修初日の 9 時 00 分～12 時 00 分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等への訪問は避けること。

(3) 受講者は、共済組合員証（健康保険証）、筆記用具、寝間着等を持参すること。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班 宮本

TEL 03-6744-0568（ダイヤルイン）